

### 3 市町村立学校等への対応

#### (1) 児童生徒の心のケア

##### イ スクールカウンセラーの緊急派遣等

##### (イ) 県内スクールカウンセラーの緊急派遣

宮城県臨床心理士会の協力を得て、3月17日から要請のあった小・中学校や避難所に県内スクールカウンセラー（臨床心理士等）の緊急派遣を行った。平成24年2月3日までの派遣実績は、16市町へ延べ309人であった。

#### 【県内スクールカウンセラー緊急派遣実績】(H23.3.17~ H24.2.3)

市町村名	派遣期間	学校数	のべ派遣人数	備考
女川町	3/17・18, 3/22・23・24	2校	10人	避難所宿泊
多賀城市	3/25・26	7校	27人	
山元町	3/25・26, 3/28・29, 4/5, 4/12	4校	18人	
亘理町	3/31, 8/29, 9/5, 16, 10/3, 7, 17, 21, 24, 31, 11/7, 11, 21, 28, 12/5 9, 12, 19, 1/16, 20, 23, 30, 2/3	2校	26人	
塩竈市	3/31(2), 12/21	2校	3人	
富谷町	4/5	1校	1人	
大和町	4/12	1校	1人	
大崎市	4/18, 25, 27, 5/2, 9, 11, 16, 18, 23(2)6/1, 6, 8, 15, 20, 22, 27, 29, 7/4, 6, 11, 13, 9/8, 15, 22, 29, 10/6, 13, 20, 27, 11/10, 17, 24	3校	33人	
栗原市	5/12, 13, 16, 17, 18, 6/23	8校	9人	
石巻市	5/10, 11, 13, 17, 24, 25, 31, 6/7, 9, 14, 16, 21, 23, 28, 30, 7/5, 8, 12 14, 19, 21, 8/23, 9/1, 2, 8, 9, 12, 14, 15, 28, 29, 10/3, 5, 7(2), 11 13, 17, 19, 20, 21, 24, 25, 31(3), 11/7(2), 8, 11(2), 14(2), 17, 21 22(2), 24, 28, 30, 12/1, 2, 5(2), 9, 14, 15, 19(2), 20, 21, 22, 1/10, 11, 16(3), 18, 24(2), 26, 30, 31, 2/1	10校	84人	
角田市	6/2, 6/6, 1/20	2校	3人	
気仙沼市	7/7, 14, 21, 8/25, 9/1, 8, 13, 15(2), 22, 10/6, 12, 27, 11/11, 7, 12/1 8, 15, 1/19, 26, 31, 2/2	4校	22人	
名取市	8/24, 31, 9/5, 6, 7, 14, 20, 21, 27, 28, 10/4, 5, 6, 13, 17, 18, 19, 26, 11/2, 7, 9, 15, 16, 21, 29, 30, 12/1, 5, 13, 14, 15, 19(2), 21, 1/11, 12, 16, 18, 25, 26, 30, 2/1	3校	42人	
東松島市	9/5, 7, 21, 30, 10/5, 26, 11/2, 16, 24, 30, 12/5, 14, 21, 1/6, 11, 13, 18, 25, 2/1	3校	19人	
南三陸町	9/14, 28, 10/12, 26, 11/9, 12/5, 14, 1/11, 2/1	2校	9人	
村田町	12/12, 1/20	1校	2人	
16市町	合計	55校	309人	

【県外】 県外カウンセラーをのべ1, 480名派遣した。（2月3日現在）

##### (ロ) 県外スクールカウンセラーの緊急派遣

沿岸部の被災地においては、当初予定のスクールカウンセラーの派遣回数が少ない学校もあったことから児童生徒、教員が相談できる体制づくりを早急に行うことが必要と考えた。

4月22日、文部科学省に「宮城県へのスクールカウンセラーの緊急支援派遣協力依頼」にて要請し、一般社団法人日本臨床心理士会の協力を得て、県外のスクールカウンセラー（臨床心理士）の緊急派遣を行った。

5月10日から平成24年2月3日まで延べ1,480人を沿岸部の小・中学校に派遣した。

第Ⅰ期は、県教育委員会が市町村教育委員会の要請を受け、被災学校へ派遣し、第Ⅱ期以降は各学校の要望を踏まえ派遣を行った。

- ・ 第Ⅰ期 5月10日から6月17日まで11市町、94校へ派遣  
支援県（18県）／兵庫県、三重県、福岡県、島根県、山口県、山形県、石川県、山梨県、愛知県、福井県、群馬県、徳島県、岐阜県、宮崎県、滋賀県、長崎県、長野県、愛媛県
- ・ 第Ⅱ期 6月21日から8月4日まで11市町、43校へ派遣  
支援県（22県）／兵庫県、三重県、福岡県、島根県、山口県、山形県、千葉県、石川県、山梨県、愛知県、福井県、徳島県、岐阜県、宮崎県、滋賀県、長崎県、長野県、愛媛県、神奈川県、京都府、香川県、岡山県
- ・ 第Ⅲ期 8月23日から12月2日まで11市町、28校へ派遣  
支援県（15県）／兵庫県、福岡県、島根県、山口県、三重県、山形県、石川県、山梨県、愛知県、岐阜県、宮崎県、滋賀県、愛媛県、千葉県、東京都
- ・ 第Ⅳ期 12月5日から平成24年3月30日まで8市町、35校へ派遣  
支援県（16県）／兵庫県、福岡県、島根県、山口県、三重県、山形県、石川県、山梨県、愛知県、岐阜県、滋賀県、愛媛県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県

※石巻市教育委員会では鳥取県から独自のルートで支援をいただいている。

※2月上旬以降追加派遣として、大崎市、山元町、石巻市が文部科学省と日本臨床心理士会との委託契約方式のルートを活用し、直接臨床心理士の派遣を実施している。

※「1学期の県外スクールカウンセラー等派遣に係る成果と課題」（文部科学省児童生徒課調査9月実施）

- ・ スクールカウンセラーが派遣された学校の評価  
「よかった」54%、「どちらかといえばよかった」36%、合わせて90%がスクールカウンセラーの派遣について前向きに評価している。
- ・ スクールカウンセラーの活動に対しての学校の評価  
「教育相談」85%、「コンサルテーション（指導・助言）」73%、「教職員に対する心のサポート」67%の順に評価が高かった。
- ・ 今後の課題  
「同じスクールカウンセラーの継続配置」、「教職員等との共通理解・連携」が挙げられ、夏休み以降の第Ⅲ期緊急派遣(8/23~11/30)については、各学校の要望を踏まえ派遣を行った。

(ハ) スクールカウンセラーの通常配置

- ・ 従来通り全中学校150校（仙台市を除く）に配置した。

- ・ 平成 23 年度は新たに広域カウンセラーを全 34 市町村（仙台市を除く）に配置し、域内のすべての小学校に対応している。
- ・ 平成 23 年 4 月 14 日に宮城県スクールカウンセラー連絡協議会を開催し、東日本大震災心理支援センター高橋哲氏を講師に緊急対応に係る研修を行い、共通理解のもと 4 月 15 日から活動を開始した。

(二) 各教育事務所（地域事務所）の専門カウンセラーの配置

- ・ 7 教育事務所（地域事務所）に各 1～2 人配置し、4 月 1 日から勤務を開始した。
- ・ 平成 23 年度より相談日を倍増し、教育相談及び域内のスクールカウンセラーのスーパーバイズを行うとともに、緊急対応として域内の小・中学校の巡回相談等も行っている。
- ・ 教育事務所（地域事務所）ごとに域内の実態に応じ、緊急対応のためのスクールカウンセラー研修会等を 2 回程度実施した。

ロ 心のケアに係る他県からの支援

全国知事会を通じた他県からの人的支援を受け、沿岸部 13 市町の小・中学校に養護教諭等を延べ 890 人派遣した。

各県とも、3 月に先遣隊を派遣し、現地の状況とニーズを把握して支援に当たった。刻々と変化する現地の状況に合わせて、心のケア、避難所の衛生管理、学校の再開、保健室の整備等の支援を展開した。

【他県からの人的支援】（震災後～H23.6.2 まで）

県名	派遣期間	派遣先	の派遣人数	職種	支援内容
兵庫県 (アース)	3/16~18, 3/22~24, 3/23~25	南三陸町, 気仙沼市 岩沼市, 東松島市, 石巻市	3 6	教員等	学校再開, 心の ケア
徳島県	3/19~4/23	女川町, 石巻市, 多賀城市	2 1 0	養護教諭	心のケア
秋田県	3/24~5/31	石巻市	1 8 1	養護教諭	心のケア
愛媛県	3/26~5/29	七ヶ浜町, 山元町	2 8 6	養護教諭	心のケア
東京・千葉	4/3~6/2	気仙沼市, 南三陸町	1 2 3	臨床心理士	心のケア
群馬県	4/10~4/26	沿岸南部	2 7	臨床心理士	教職員心のケア
公立学校共済組合	4/ 6~4/22	沿岸北部	2 7	臨床心理士, 医師等	教職員心のケア
		合 計	8 9 0		

ハ 心のケアに係る研修会の開催

宮城県内の心のケアに当たる人たちを支援することを目的に、ケア・宮城（※）と県教育委員会の共催で、「子どもの心を支援する教師のための研修会」を実施した。教育庁内各課の連携を図り、教育庁全体で「子どもの心を支援する教師のための研修会」の開催を推進し、5 月下旬から 9 月上旬まで 40 回実施した。

10 月からは研修内容を変更し、震災後半年の状況を踏まえた研修会の開催を推進し、「第 2 回子ども心を支援する教師のための研修会」として 10 月上旬から 2 月中旬まで 18 回実施した。

※一般社団法人日本学校心理士認定運営機構宮城支部、一般社団法人日本臨床発達心理士認定運営機構東

北支部、宮城県臨床心理士会の有志により構成された団体

【研修会実施内訳】

- ・ 市町村単位の実施／延べ 14 市町で実施（義務教育課担当）
- ・ 学校（園）単位の実施／延べ 34 校（園）で実施（スポーツ健康課担当）
- ・ 県教育委員会開催／3 回（教職員課担当：初任研指導教員研修，2 年目研修，幼稚園初任研修）
- ・ 私学関係の実施／4 回（私学文書課担当）
- ・ その他開催／3 回（町職員研修，保育所・児童館職員研修，岩手県保健師・養護教諭研修）

◇研修会の評価

アンケート回答を踏まえた，参加人数総数は 2，260 人（教員 1，530 人，保護者 672 人，児童 58 人）であった。評価としては，「参加してよかった」63%，「楽しかった」61%，「内容が分かりやすかった」65%等という結果で，概ね所期の目的に沿った研修会ができた。

## ニ スクールソーシャルワーカーの活用

平成 23 年度当初から，13 市町に 13 人のスクールソーシャルワーカーを配置し，域内の小・中学校からの要請を受け活動している。学校を中心に，市町教育委員会，保健福祉等関係機関による個々の児童生徒に関するケース会議を立ち上げ，連携を図り，家庭や児童生徒への支援を展開した。また，被災により震災遺児・孤児を含めた様々な問題を抱えた児童生徒が増加し，スクールソーシャルワーカーの緊急配置が必要となり，文部科学省の「緊急スクールカウンセラー等派遣事業」を活用し，配置スクールソーシャルワーカーの活動を拡充するとともに，新たに石巻市へ 2 人の追加配置を行った。

平成 23 年度配置 13 市町

（当初）角田市，柴田町，塩竈市，岩沼市，多賀城市，大和町，大崎市，涌谷町，栗原市，石巻市，女川町，登米市，気仙沼市

13 人任用（うち精神保健福祉士の有資格者 8 人）

（追加配置）石巻市 2 人任用（うち精神保健福祉士の有資格者 2 人）

## ホ 課題

東日本大震災後，目の前のことから現状に応じた緊急対応を行ってきたが，児童生徒の心のケアについては，長期的・継続的な展望をもち事業展開を図る必要がある。